

令和7年1月臨時会会議録

令和7年1月24日 金曜日 午前10時00分開会

鈴木 富美子 議長 金子 豊美 副議長

出席議員（16名）

1番	平井直之	議員	2番	鈴木英則	議員
3番	勝見英一朗	議員	4番	鈴木裕	議員
5番	鈴木悟司	議員	6番	鈴木一則	議員
7番	渡部正之	議員	8番	竹田陽一	議員
9番	内谷邦彦	議員	10番	渡部秀樹	議員
11番	浅野敏明	議員	12番	金子豊美	議員
13番	平進介	議員	14番	梅津善之	議員
15番	今泉春江	議員	16番	鈴木富美子	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内谷重治	市長	齋藤環樹	副市長
竹田利弘	政策推進参与	高石潤一	危機管理参与
新野弘明	総務参事兼地域づくり推進課長	梅津義徳	厚生参事兼福祉あんしん課長
渡邊恵子	総合政策課長	三瓶仁之	総務課長併選挙管理委員会事務局長
鈴木和夫	財政課長	高橋仁	併監査委員事務局長
土屋正人	教育長	青木邦博	子育て推進課長
赤間茂樹	産業参事兼商工振興課長	佐藤久	技術参与
竹田洋	教育次長兼学校教育課長	高世潤	建設参事兼上下水道課長
渡部和喜子	福祉あんしん課長 長寿介護・地域包括支援センター担当課長		教育総務課長兼給食共同調理場長

事務局職員出席者

鈴木敏久	事務局長	小林克人	副主幹兼補佐
小阪桃子	議事調査主査	安達洋司	技士

議 事 日 程

令和 7 年 1 月 2 4 日 金曜日 午前 1 0 時 0 0 分開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第 1 号 令和 6 年度長井市一般会計補正予算第 1 1 号

(質疑、討論、表決)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

以上、3名の方をお願いいたします。

開 会

○鈴木富美子議長 おはようございます。

ただいまから令和7年1月長井市議会臨時会
を開会いたします。

開 議

○鈴木富美子議長 これから本日の会議を開きま
す。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達し
ております。

なお、山形新聞社記者から、パソコン、カメ
ラ、録音機の使用について申請があり、許可い
たしましたのでご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程を
もって進めます。

なお、この日程につきましては、先ほど開催
されました議会運営委員会にお諮りし、内定を
見ておりますので、ご了承をお願いいたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○鈴木富美子議長 日程第1、会議録署名議員の
指名であります。

会議規則第81条の規定により、ご指名いたし
ます。

10番 渡 部 秀 樹 議員

11番 浅 野 敏 明 議員

12番 金 子 豊 美 議員

日程第2 会期の決定

○鈴木富美子議長 次に、日程第2、会期の決定
であります。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日
1日といたしたいと思いますが、これにご異議
ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○鈴木富美子議長 異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

委員会付託の省略について

○鈴木富美子議長 お諮りいたします。

これから上程いたします議案は、委員会付託
を省略し、全員でご審議願いたいと思いますが、
これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○鈴木富美子議長 異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

日程第3 議案第1号 令和6年度 長井市一般会計補正予算第11号

○鈴木富美子議長 それでは、日程第3、議案第
1号 令和6年度長井市一般会計補正予算第11
号の1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

（内谷重治市長登壇）

○内谷重治市長 おはようございます。

提案説明を申し上げます。

議案第1号 令和6年度長井市一般会計補正予算第11号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に1億5,641万9,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ193億7,991万6,000円といたすものでございます。

このたびの補正は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し実施する事業において、必要な事業費を措置いたすものでございます。

歳出につきましては、デジタル地域通貨ながいコイン事業、産業振興交流拠点施設物価高騰対策事業、学校給食費等負担軽減事業など、地域の実情に応じて実施する推奨事業メニューの事業費を措置いたすほか、低所得世帯への支援として、住民税非課税世帯給付金給付事業及び子育て給付金給付事業に要する経費を措置いたすものでございます。

歳入につきましては、歳出の財源として国県支出金を計上したほか、財源の更正に伴い、財政調整基金繰入金を減額いたすものでございます。

また、第2条の繰越明許費の補正につきましては、第2表のとおり追加いたすものでございます。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○鈴木富美子議長 提案者の説明が終わりました。

なお、申合せにより、委員会付託を省略して全員による審議の場合、当日提案議案の質疑につきましては、一問一答の方式より行うこととされております。質疑の時間は1人当たり答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、これから質疑、討論、採決を行います。

日程第3、議案第1号 令和6年度長井市一般会計補正予算第11号の1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 13番。9ページになります。物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金事業についての産業振興交流拠点施設物価高騰対策補助金936万1,000円について、全員協議会で概要の説明を受けたわけですが、確認の意味を含めて、市長にお伺いしたいと思います。

一つは、このたびの物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金事業については、本来、市内の産業全体が対象となるが、このたびの補正はタスパークホテルにのみ補助金を出すという説明でありました。

市内の産業の中でも物価高騰で厳しいところも相当あるのではないかと思われるわけですが、その考え方について市長にお伺いをいたします。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えを申し上げます。

このたびの国の地方創生の臨時交付金につきましては、予定された金額より、やや我々としては少なかったのかなと思っております。その中で、まずは市民の皆様向けに、ひとしく、県のほうの支援もいただきながら、ながいコイン、1人2,000円相当の部分を拠出すると、これが主なものでございます。

それ以外につきましては、このたびの臨時交付金では福祉関係施設のほうから事前に要望がございまして、その要望に応じて、金額的には決して高額ではございませんが、補助させていただくというものでございます。額自体が、先ほど来ございますように、1億5,000万円、アバウトですね、ぐらいで、そのうち、ながいコインの事業やら、あるいは学校給食の物価高騰の部分の支援であつたりとか、そしてまた今の福祉ということで、残念ながら幅広い支援は難しいということで、特に私どもといたしまし

ては、大変困難なコロナを乗り越えて何とか商工会議所が頑張って運営されておったタスパークホテルを市のほうで取得させていただきながら、今後20年から30年、しっかりとこの施設を産業振興の拠点として、あるいは観光交流の拠点として使わせていただくと。その経営が非常に、商工会議所から私どもも一緒になって、地場産センターとで3者で経営しておりますが、大変厳しい、リノベーションした約1年、ほとんど開店休業状況でございましたので、そういったところの部分に今回は充てさせていただくというのが、金額的なところから致し方ないのかなと考えたところでございます。

それ以外にも、この臨時交付金以外で、じゃあタスパークホテルの運営について支援するということで、この交付金は広く薄くやっただいんじゃないかという考え方もあるかと思いますが、このたび福祉関係の団体のほうから要望があったんですが、それ以外は要望がございませんでしたので、金額が金額なものですから、こちらで商工会議所等々と相談して、幅広く薄くというのも今回は致し方なくできないだろうということから、まずは当面のそのタスパークホテル、これは市内の企業、団体の皆様をはじめ市民の皆様にもいろいろ使っていただける施設ということで、その運営が厳しいことから支援しようということで考えたところでございます。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 金額がそう多くないということで、幅広い支援は難しかったというお話だったと思います。

このたびの補正については、この推奨事業メニュー分の限度額が9,840万2,000円のうちの5,840万2,000円を今回補正で活用するというところで、残り4,000万円については国予算の繰越手続により令和7年度予算に計上する方向で事業を調整中という担当課長さんからの資料による説明だったんです。

この4,000万円ですが、令和7年度予算には、この残りの4,000万円等を活用して、今、幅広い支援は難しいと市長の答弁にありました、市内の産業の中での物価高騰で厳しい事業所等への補助金を出すという、そういったことを考えておられるのかどうか、その辺について伺いをしたいと思います。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 この件につきましては、なかなか、まずは給付金のほうですね、非課税世帯の方とか、そういったところをとにかく急ぐようにということで、私どもとしては、そちらについては、できますれば、もう今にでもできるような準備はしているわけですね。ですから、できるだけ早く支給したいということで、今回は臨時議会でさせていただいたんですが、それ以外のものは、少し今後の在り方等々について検討する余裕がなかったということから、今後、その使い方について検討していこうと考えてはおりますが、基本的なところは政策推進参与のほうから、その考え方について答弁いたさせますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○鈴木富美子議長 竹田利弘政策推進参与。

○竹田利弘政策推進参与 今のご質問にお答えさせていただきます。

今回の交付金、推奨メニューの枠でございますが、枠が来ましたが、年度の途中でございすので、国のほうでも一部繰越しも可能だということでございます。

それで、市の施策の中で、特に物価高騰対策でございますが、国のほうではいろんなメニューがございますが、例えば電気料とか、あと高騰、いろんな産業にもございますが、例えば学校給食の支援とか、そういったものにも全部使っているということで、今、当初予算の編成の中で、それにつきましては検討中でございます。当初予算の編成の中で、こういった業種とか、こういったものに使えば、より効率的に国の制

度上に合うかということも検討いたしまして、これにつきましては当初予算の説明の中でさせていただきたいと思います。今のところは検討中ということで回答させていただきます。よろしくお願いいたします。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 この4,000万円については、繰越し可能ということで、令和7年度の当初予算で、この事業も含めて計上していきたいというお話だったわけですが、今この時点で大体固まりつつあんのかなと、令和7年度の予算そのものですが、まずそういったところで、少しまだ方向性というか、そういったばやとした格好なのかどうか、竹田政策推進参与にお聞きしたいと思いますが、いかがですか。

○鈴木富美子議長 竹田利弘政策推進参与。

○竹田利弘政策推進参与 今、予算編成中で、詳しいことは今検討中で、まだ地財計画も今日やっと発表になりますので、その歳入状況を見ながらに当然なりますが、私どもで特に力を入れているのが、子育て、教育の分野でございます。昨今、今回もそういった分野にも充当させていただきましたが、今も給食費、特に上がり続けておりますので、そちらのほうには当然充当はしたいなということで、今検討中でございます。

あと、先ほどちょっと市長からもございましたが、福祉の団体の方からは、特にということで要望がありましたが、そのほかの分野の方につきましては、特に強い要望というか、ちょっと語弊があるかどうかですけども、特に市長のほうに団体として要望というのはあったと私も聞いておりませんし、あなたたち大変でしょうと、だから予算つけますよというスタンスでもなくて、そういった要望も聞きながら対処していきたいと、今のところは考えているところでございます。教育、子育て、その辺を重点的にということは考えているところでございます。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 市内の事業所等についても非常に厳しい大変なところはあるのではないかなと思うわけですが、なかなか行政のほうにそういった要望をしていいのかどうかという、そういったところも含めて事業所のほうでは分からないところもあるのかなという、ちょっと感じをしておりますので、その辺も含めてお知らせなりして、いろいろと情報を集めていただければありがたいなと思います。

3点目ですが、説明では近年の物価高騰による施設への影響を緩和し、施設利用者への負担を抑制することを目的に、施設の指定管理者へ補助するものと、今回のタスパークホテルの件では説明されているわけです。

この対象がタスパークホテルへの補助とする内容であります。タスパークホテルの指定管理料については、ただ同然っていいですか、年間1,000円としているわけですが、指定管理料がなくても運営できるということだったと、その指定管理料をする段階で、そのようにしたんだと理解をしているわけです。

その指定管理を行っている施設として、例えば旧長井小学校第一校舎や市民文化会館、「くるんと」、コミュニティ協議会等、たくさんあるわけですが、それぞれに物価高騰で大変ではないかと推察をするわけです。このたびの物価高騰対策臨時交付金を、こうした施設に補助をしないということについての、その整合性といいますか、その考え方について市長にお伺いをしたいと思います。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 詳しいことは政策推進参与のほうから申し上げますが、考え方としては、例えば「くるんと」であったり、旧長井小学校第一校舎であったり市民文化会館であったり、こういうところが指定管理として多額の金額を、あるいは道の駅もそうなんですが、支払っていま

す。

タスの場合は、タスパークホテルの部分についても市の所有になったわけですが、市からは光熱水費とか払ってないわけなんです。ほかの三つの施設、今申し上げた四つですか、道の駅も、その部分を指定管理料としてもらっているわけです、ほかの団体は、その電気料とかいろんな物価が上がった、あるいは人件費が上がるといことで。しかし、私どもも、以前経営されていた商工会議所と、その後いろいろ詳しい情報交換のほうもしましたけれども、実質的には商工会議所のほうでかなり負担されているんですね。ですから、外からの見え方と経営の実態は違っていたと私は感じております。

しかしながら、現在のタスパークホテル長井は、市からはこういった支援以外は一切ないわけですから、それがもう相当な電気料とかいろんな物価が上がっていて相当厳しいと。これは我々の責任がある分野でそういった状況ですから、ほかの、例えば製造業とか飲食業とかサービス業も同じじゃないかと、いや、確かに同じ部分もありますが、なぜタスを行ったかという、築35年以上経過して、ああいったサービス業としては大規模改修をしないと、もういずれ、例えば一昨年閉館したホテルキャッスルのように、もうあそこも40年になるということで、大規模改修できないということからやめたわけですよ。私どもはそうではなくて、タスパークホテル含めたタスは、長井市の産業振興はもちろんでございますが、交流とか、あるいは様々な人との出会いの場であったり、一緒に市民の皆様が食事を楽しんだりいろんなことを楽しめる、そういう施設として必要だと判断して、議会の議決をいただいてタスパークホテルの部分を商工会議所から購入させていただいたわけですね。したがって、タスばかりして、ほかのところはしないっておかしいんじゃないかというのは、ちょっと違います。

それから、昨年の末に、あかしあ産業団地会の例会に年末、毎年お招きいただきまして、景況をそれぞれの企業からお聞きできるんですね。景況は悪くはございません。厳しいという企業はございませんでした。ですから、市内の飲食業でも経営厳しいところはあるかもしれません。しかし、具体的に我々のほうにはその声は届いてなくて、ただ、いろいろ商工会議所含めてどうだろうといったときに、まず何とかこの先もいけるんじゃないかと、しかしながら、私どもの責任において管理をしなくてはいけないタスパークホテルの運営については、市からは一切払ってないわけです。それから電気料が上がって、確かに地場産センターのほうは大変です。ですから、地場産センターのほうは、ふるさと納税等々で内部留保していたものを何とか切り崩してやっているわけですが、地場産センターは、まずは頑張っしてほしいというのは、今回、リノベーションで具体的な影響を受けてないんですね。ですから、そういう意味ではタスパークホテル長井、これ、我々の責任あるわけで、その運営が非常に厳しいと。そういったことで、今回の臨時議会で、まずはその対応として、電気料等々の維持管理の当面の厳しい状況のために支援をしたということでございますので、ご理解いただきたいと思います。

また竹田政策推進参与のほうから別の視点でちょっと答弁をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○鈴木富美子議長 竹田利弘政策推進参与。

○竹田利弘政策推進参与 指定管理料の考え方でございますが、今、具体的に議員のほうから名前がありました旧長井小学校第一校舎とか、「くるんと」、あともう一つ、すみません、市民文化会館でございますが、ちょっと旧長井小学校第一校舎の例を例に取りますと、市民文化会館もそうですが、光熱水費については、指定管理料の中に一定額を設定して、これを下回っ

た場合は返してください、この額を上回った場合は市で負担金として支払いますということで、昨年の9月議会でも、その光熱水費を上回った分については、負担金ということで計上させていただいております。

実は前の従前の指定管理業者ですと、そういうのを、あなたたち、リスクを負って指定管理を受けているんでしょということで、赤字もしようがないでしょうという考え方ですけども、今の指定管理制度の考え方、5年前、指定管理制度始まったときは、あんた方の責任ですと業者に一方的に押しつけていたんですけども、それでは指定管理受ける業者はいないということで、サウンディング調査でいろんな業者に聞きまして、どういった条件だと参入できますかということ調査したときに、光熱水費と修繕料については、そこは一定程度指定管理料の中に入れて、前後あった場合については、そこは精算ですということを条項を盛り込んでおりますので、例えば今回、物価高騰あった場合でも、それは指定管理料のほかに支援するのではなくて、あくまでもその指定管理の枠組みの中で負担金ということでしておりますので、そこはご理解いただきたいと思います。

やはり議員おっしゃるように、指定管理は指定管理料で出しませんよと、物価が例えば上がった場合に、別にまた補助金でするかもしれませんよと、補助金はするかもなので、財政状況に余裕があれば、余裕というか、その財政状況に応じてするということなので、それでは指定管理業者、一般的に競争をして受ける業者がそれではないよというサウンディング調査もありますので、そこはタスとはちょっと若干違うと。それで、タスの場合は、当初の設定のときには当然経済情勢もありますし、その時点ではある程度の収益で賄えるだろうということはあるんですけども、コロナの影響とか、その休業の影響等で全然出せないということで、指定

管理の項目の中にもそういった条項ありませんので、こういった制度で支援していくしかない。

それで、ちなみになんですけども、ほかの自治体で、やはり長井市のように指定管理の条項の中に、光熱水費の精算条項を設けてない指定管理でまだやっているところもあるみたいです。というのは、指定管理、長井市5年ですけども、10年とかでやっているところあるらしいんですけども、そういったところについては、一般財源で別に何か制度をつくって補助をもらっているところもあるらしいとは聞いておりますが、その事業者の方々からは。ただ、それは今、旧長井小学校第一校舎とか、市民文化会館とかいった近年の指定管理をしているところについては、そういったものではなくて、あくまでも物価高騰が著しいと思われる光熱水費等については精算ということで、足りない分は負担金、余ったら返してもらうということで処理しているのが一般的のようでございますので、ちょっと今回、議員の質問からあったんですけど、そうしたらどうかというのには、ちょっと当てはまらないかと私は考えております。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 新しい指定管理制度については、光熱費については精算条項があるというお話です。

ちなみにコミュニティ協議会、各コミュニティセンターの施設があるわけですが、あそこの施設の光熱水費というのはどのように精算というか、指定管理料に入っているのかどうか、その辺についてはいかがですか。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 お答えいたします。

コミュニティセンターの電気料金については、指定管理料の中に入っておりますので、今の予算の範囲の中で調整させていただいているとこ

ろでございまして、今年度の部分につきましては、コミセンのほうから具体的な相談等来ておりませんので、予算の範囲の中で調整可能と考えております。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 コミセンの支出については、指定管理料に入っているということのようですので、その辺も館長さんからいろいろお聞きしながら対応を取っていただきたいと思います。ですが、地域づくり推進課長、いかがですか。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 そういった費用につきましては、全体、事務局の本部のほうで、最終的に各コミセンのほうの情報を収集しながら精算しておりますので、コミュニティ協議会のほうと調整してまいりたいと思います。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 市長のほうから、タスパークホテルの運営については、外からの見方と実態が違っていたというお話なわけですが、指定管理をする時点で、その内部のところも含めて、よく見ておくべきだったのではないかと思うわけです。

そうしたところで、担当課のほうでは新年度に向けてまた少しタスパークホテルに対する支援策などを考えておられるということですが、ぜひ民間との合築の中でいろいろ議論された中で、最終的に民間から行政のほうに移ってきた施設ということもありますので、丁寧に運営をしていくように努力していただければと思います。

以上で終わります。

○鈴木富美子議長 ほかにございませんか。

8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 同じく9ページの関係があります。協議会等で説明がされているわけですが、今回の936万1,000円の積算根拠の部分で、ちょっとこまいことになるんですが、お尋ねを

したいと思います。

令和6年と令和3年の単価の差額7円ということですが、それぞれの年度の単価について、電力と重油についてお尋ねをしたいと思います。商工振興課長になりますか、お願いします。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹商工振興課長。

○赤間茂樹商工振興課長 令和3年度と令和6年度の、このたびは平均で単価出ささせていただきますが、それぞれお伝えしたいと思います。

電気につきましては、令和3年度の年間の平均単価が22.693円となっております。令和6年度につきましては、12月までの平均単価ですが、30.547円、その差額が7.854円ということで、端数を切り捨てて、このたびは7円の単価を使用しております。

また、重油につきましては、令和3年度の平均単価が85.60円、令和6年度、11月までしか出てないんですけども、11月までの平均の中で100.34円、その差額が14.74円となりまして、端数切り捨てて14円の単価を使用しているところでございます。

○鈴木富美子議長 8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 その上で、使用量についても年間見込み量というのをやっているわけですが、9月の段階の見込み量と比べると大分増えているような感じがするんですが、その積算についてもお聞きをしたいと思います。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹商工振興課長。

○赤間茂樹商工振興課長 使用量につきましては、まず、電気につきましては、令和6年12月までの平均使用量より年間の使用量を算出しておりまして、その数値が108万7,074キロワットとなります。この使用量を算出したしまして、それに単価をかけているという形になります。

重油の使用量につきましては、これも令和6年の11月までの月々の平均使用量から年間の使用量を算出したしまして、その年間の使用量に

先ほどお伝えしました単価14円を掛けて175万1,484円という推計をしているところでございます。

○鈴木富美子議長 8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 昨年は大分暑い日が続いたわけで、近年そういうふうな夏場は大分猛暑で、電気料などは相当かさんでいるのかなと思っています。

重油については、主に暖房用かなという感じがするんですが、冬期間については、その分がかなり伸びてくるというように思います。

先ほど重油についても11月までの平均を見てという話でしたが、冬期間については、それより増すような感じがするんですが、その辺は前年度あたりの使用量を見てどうのような傾向でありましたか、教えてください。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹商工振興課長。

○赤間茂樹商工振興課長 重油に関しましては、これ、実は夏場も使っています。冷房にも重油を使用しているということで夏場も使用しているんですが、年間を通して、ほぼほぼ変わりはないんですが、若干冬場のほうが使用量は増えているという状況になっております。

○鈴木富美子議長 8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 分かりました。

きちんとした見込みを立てておられて、それなりの額ということで理解をしたところであります。

次に、経営が大変厳しいというタスパークホテルであります、経営健全化に向けた取組が速やかに行われることが大切かなと思います。

経営改善計画も恐らくかなり作成について進められていると思いますが、経営改善計画を立てるに当たっての何か基本方針みたいなのがあれば、ちょっとお聞きをしたいなということ。

それから、経営改善計画が策定された暁には議会にも説明をいただきたいと思いますが、その時期については、いつ頃になるのかお聞きを

したいと思います。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹商工振興課長。

○赤間茂樹商工振興課長 経営改善計画につきましては、以前協議会のほうでもお話ししているとおりの、3月にお示ししたいと考えております。

このたび9月議会から12月議会、そして昨日の協議会まで、建物の維持費というものの負担について、基本的には市が所有している部分を負担していきたい等々の説明をさせていただいておりますが、そこら辺の費用も出た上で、それではホテル経営としてどのような契約を立てていくかというのがまず基本のベースになるのかなということで、これまでホテル側とは話をしてきたところでございます。

ホテル内も、ちょっといろいろ社内の人事といたしますか、人の変動がありまして、また新しく経理担当の方が参りますので、これまでも計画は順次、毎月のように立ててきておりますけれども、令和7年度の経営計画につきましては、改めて3月まで間に合うように、これから再度立てるということで、今進めようとしております。

○鈴木富美子議長 8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 維持管理費については、タスパール全体の所有者とか使用者の所有割合とか使用割合で当然負担をするものと思っています。

これまでは指定管理料1,000円ということで実質ゼロなわけですが、今後はその指定管理料にランニングコストの部分、当然含まれてくると思うんですが、その辺についての見解についてお聞きをしたいと思います。商工振興課長。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹商工振興課長。

○赤間茂樹商工振興課長 令和7年度の予算編成がまだ終わっていませんので、どのような形で盛り込んでいくかというのは、まだ決定しておりません。

しかしながら、何らかの形で、そういった負

担分については予算計上していきたいということで考えているところでございます。

○鈴木富美子議長 8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 ランニングコストはかかるわけですから、指定管理の条項の見直しを含めて、しっかりとしていただきたいなと思います。ほかの指定管理者の指定管理の部分もあるわけですが、それと同じような形で、分かりやすい形をお願いをしたいなと思います。

次に、経営改善計画がつけられた後の話もちょっとお聞きをしておきたいと思います。

当然長井市については出資者でありますし、指定管理の委託者となるわけです。タスパークホテルというのは別な第三者になるわけですが……。

○鈴木富美子議長 竹田陽一議員に申し上げます。

今の審議は今回の補正予算第11号の件なので、ちょっとその件につきましては、この場ではない、この場ではちょっと中止させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○8番 竹田陽一議員 いや、大いに関係あるのかなと私は。ちょっともう少し聞いていただいて判断していただければなと思います。

○鈴木富美子議長 では、はい。

○8番 竹田陽一議員 タス、経営が厳しいという部分を改善する、健全化するために、今後の部分についてもやはり話をさせていただきたいなと、そういう意味であります。今回は物価高騰部分ということで負担を提案されているわけですが、その関係になってくると私は感じています。

これからも出資者、指定管理者としてタスパークホテルの経営の健全化に向けた指導というのは非常に重要になると思います。その経営改善計画の進捗状況についても、市の中できちんとした体制の下に確認をしていく必要があると考えています。

経営改善を推進するということでもありますの

で、しなければならないわけですので、市が先導していく必要があるのではないかと考えています。市は強いその経営を改善するという意思を持って、この第三セクターの中でも行動していただきたいと考えておりますので、その辺について市長から少し見解をお聞きしたいと思います。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

今、株式会社タスパークホテルの実態でございますが、取締役は商工会議所から2名、それから地場産業振興センターから2名、そして長井市から2名ということで、取締役6人、それから監査役、これはいろいろなところをお願いしておったりしているわけですが、その中で私ども長井市の責任は大きいだろうと。

というのは、地場産業振興センターと長井市、それから商工会議所、1,000万円ずつの3,000万円の株式会社として再スタートしたわけで、市関連が地場産業振興センターと長井市ということでありますので、スムーズに運営がいった場合は、これは第三セクターであったとしても、我々市のほうでどうのこうの口を挟むような、これは高度なサービス業ですから、我々行政で理解できるような部分じゃないと、そういった私ども市のほうから私と齋藤副市長が取締役ということで出ておりますが、我々、ホテルの経験ってないわけですから、そういった意味でいえば、現在の経営陣の中でも商工会議所から出ている方とか、あと、地場産から出ている方あたりから、いろいろ全力で今までの経験を生かしながら安定した経営をと思っているんですが、以前にもちょっと全協等々でお話しさせていただきましたが、一番の課題は、1年間、開店休業だったということで、客離れと同時に社員が大分入れ替わりました。今までの経験の長い方々がほとんどが退職、あるいは経営の方針もかなり変わりましたので、

それで退職されたということから、人員体制が実は極めて厳しいと思っております。なおかつ営業もきちんとした経験のある方を中心とした営業体制は取れてないと。あと経理のほうも、実はしっかりとした責任者がいない。なおかつ、社内の会計システム等々については、前近代的な状況でやってきたと。そういったところも全部改善しなくてはいけないということで、実は改善計画をつくるのは、書面上つくることはできるかもしれませんが、それを実態に合わせるには、もう相当厳しいと私は判断しております。

したがって、議会のほうの全協でも、今までの経過から、実際我々経営に携わってみて感じたことも含めてお話をさせていただいているんですが、経営は極めて厳しいと。ただし、もうかなりリノベーションしたことによって客の評判は非常にいいということでありますので、ですから今までの過去から引き継いできた様々な負の遺産をどう清算するかというのが第一だと思っております。

それには経営改善計画にきちっと示さなきゃいけないんですが、まずは現在、今、それを急いでおりますので、何としてもタスパークホテル長井は、我々長井市と地場産業振興センター、それから商工会議所、そしてもう一方で一般社団法人のやまがたアルカディア観光局、こちらと一体となって、外からの、域外からの様々な交流、観光のお客様にご利用いただけるような、そしてそれが単なる通過型の観光ではなくて、この長井市を含めたアルカディアの地域の関係人口とか、二拠点居住とか、あるいはファンも増やすとか、そういったことにつながるようなことも一体としていかないと、なかなか経営は軌道に乗らないだろうと。

そんな中で、唯一、我々間違っていないと思うのは、このタスパークホテル長井、議会からの皆様のご協力いただいてリノベーションする

ことができて、これは実質的には辻田総支配人などもおっしゃっていますけども、通常のシェーホテルとまた違う機能もあると。こういう機能は山形県ではタスパークホテル長井しかないんじゃないかと。ですから、これを生かす、どういうふうに生かすかというところが、これからの我々経営陣の課題であろうと思っております。

ちょっと抽象的な表現で恐縮ではございますが、まずは人員体制を強化し、なおかつ令和7年度は、私ども連携協定を結んでいる、パートナー協定を結んでいる東京の八芳園さんのほうから、ちょうど八芳園さんが半年ほど大規模改修等々で、リノベーションですね、向こうも、休業するということで、その人材をぜひ私どもにも派遣していただいて、サービスの関係なんかもまだまだです。それから、料理っていいですかね、メニューも含めたそういったところなどもいろいろご助言やらお力添えをいただいて、令和7年度に何とかそこから赤字を脱出して黒字、そして多くの観光交流客、長井を中心としたこの置賜にお越しいたきて、なおかつ地域が活性化するような、そんな取組ができるようなホテル、受皿として、今後とも頑張ってますので、大変抽象的な答弁で恐縮ではございますが、竹田議員はじめ議員各位からいろいろご助言やら情報提供、また営業等についてもお力添えをいただければ大変ありがたいと思います。

○鈴木富美子議長 8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 今、タスパークホテルが抱える課題について、いろいろとお話あったわけですが、ぜひ経営目標、要するに売上げの向上とか人材の育成とか、それから今までタスパークホテルの風土みたいなもの、恐らくあると思うので、それらもよい方向に改善していただいて、市民が喜べるような、使えるような、親しみのあるような、ぜひタスパークホテルに邁

進をしていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

以上で終わります。

○鈴木富美子議長 ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○鈴木富美子議長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第1号について討論を行います。ご意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○鈴木富美子議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第1号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

（起立全員）

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第1号は、原案のとおり決定いたしました。

最後にお諮りいたします。本臨時会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○鈴木富美子議長 異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

閉 会

○鈴木富美子議長 これをもって令和7年1月長井市議会臨時会を閉会いたします。ご協力誠にありがとうございました。

午前10時55分 閉会

会議録署名議員

議 長 鈴 木 富美子

10 番 渡 部 秀 樹

11 番 浅 野 敏 明

12 番 金 子 豊 美